



次所 田次 所  
 出 現 所  
 3700-7120  
 田次 所  
 3700-7120  
 平成26年7月20日  
 平飯用 賀 出 現 所

### 人と人の絆

平飯二十五年度の総会に於いて、用賀南町会長に就任致しました田辺です。

銭木前会長同様よろしくお願ひ致します。

思えば、就任して一年余りがたち、その責任の重さをひしひし感じております。

役員の皆様には、それぞれの立場から、未熟な私を支えて頂き、感謝しております。

これから役員一同と共に町会運営に尽力して参る所存です。

救老会をはじめ、いろいろなイベントを企画しておりますが、会員の皆様が気軽に参加できるアイデアを随時募集しておりますので、近くの役員まで連絡下さい。ご協力よろしくお願ひ致します。

尚、町会会員の募集も随時おこなっております。災害時には隣近所の助け合いが重要です。皆様の参加をお待ちしております。



(用賀南町会会長)

### よちのお寺

用賀観音は、約四四〇年程前に用賀の住人高橋六右衛門尉直住が、品川の浜で漁師の網にかかった十一面観世音菩薩を譲り受け、自宅に安置し供養していると、その観音様の夢告を受け、奉安されることになったといわれている。

戦前まで、その御分身が近郷の家庭を巡行し、厚い信仰を集めていた。

今も用賀観音に手を合わせる人は多い。

人々の祈りは健康長寿、大願成就等、様々であるがその全てを清度下さる。奇しくも千年の今年は、十二年に一度の御開帳である。

用賀観音寺住職

## 人と人支え合い

### 日赤奉仕団用賀分団の活動

用賀分団は用賀出張所管内の5町会19名の役員で構成されています。

主な活動には募金があり、5月「日赤救済」に始まり、10月「赤い羽根」、12月「歳末助け合い」と年3回行われます。最近の訪問募金は大変難しくなっております。

8月「たまがわ花火大会」では熱中症の方々の救護活動、10月「ふれあいラリー」では40食の豚汁を子供達と各町会の方々に振舞っています。

又、各町会の年間行事には、協力、参加しています。

災害時は、地域の皆様と共に助け合ってお役にたちたいと願っております。

(日赤用賀分団長)

### デイホームにおける支え合い

上野賀屋宅介護 井上静子 支援事業所  
 平成七年にデイホームが出来て二十余年。当時は区の事業であり四百円のお弁当代で参加してきました。

平成十二年に介護保険が導入され、身体の不自由な人や、認知症のある人が、安心して、楽しく一日を過ごすことができる施設になり、認知症予防や介護予防も行っています。

歌や民謡、体操、フラダンス、書道や陶芸等を、保育園児や地域の方が披露してくれます。

高齢者が増えていく中で元氣な人が支えを必要としている人を支え、お互いに生きがいとなっていると思われまます。

### 集中豪雨に備えよう

①側溝や雨水ますにゴミが溜まらないようにこまめに掃除しましょう。  
 ②地下や半地下の居室・車庫等の排水設備の点検整備をしましょう。

☆区では必要な時にいつても土のうを持ち出せる「土のうステーション」を順次設置していきます。用賀出張所管内は今年度2箇所「上用賀3丁目公園」に設置しました。

☆土のうは、玉川土木管理事務所に連絡いただければ配布いたします。(但し土のうの処分は各家庭でお願いいたします。)

〇問合せ先  
 玉川土木管理事務所  
 電話：(3702-4914)

### 木洩れ日

飯田恭次

梅雨明けと共に夏本番、初夏が来れば思い出す、遙かなる風、遠い空……「爽やかな高原の風を感じさせる抒情歌です。国民の祝日として、七月の海の日に次いで、新たに、八月、山の日が決まりました。

今、私達は一週間刻み、平日、休日の色分けに慣れてしまい、一月の壁月に始まり、六月水無月、七月文月、八月葉月と云う季節感は少し薄くなりました。

八月は又、平和の尊さを考える時。国会では集団的自衛権の論議、あの太平洋戦争当時の生活を体験している国民学校世代にとって、八月十五日は忘れられない一日です。

毎年八月が近づくと、靖国神社への公式参拝が国の内外で話題になります。そして、戦後、市ヶ谷法廷で開かれた極東国際軍事裁判のA級戦犯合祀が問題視されます。

太平洋戦争開戦時の東條英機首相私邸が用賀にあつた事も遠い昔話になりました。東條邸は戦後、主に勝子夫人が一人住まいをしていました。

七年、九十一歳で亡くなり翌年、家屋敷は取り壊されまいりました。

八月は故郷、家族、旧友との再会を懐かしむ時、今年も沢山の想い出作りを。



# 郷土紹介

## 大山道のあしあと(五)

平田良孝

慶長一九年(一六一四)大阪冬の陣、翌、元和元年の夏の陣で豊臣家は滅び、徳川幕府による、本格的な「江戸」の都市づくりが始まります。

江戸城内には本丸、西ノ丸、天守閣等が建ち、周辺に武家屋敷、寺社領、町人用地が整備されて行きます。そして、多摩川の上流、羽村の堰から玉川上水を引いて江戸市中の飲料水を確保。又、灌漑用水も各所に出来、新田開発が進みます。この時期に起ったのが、有名な「明暦の大火」です。明暦三年(一六五七)一月、本郷丸山、本妙寺から

## わくわくしています

二子玉川小学校長 千葉秀一

四月に区内希望丘小学校から異動して参りました。校長として三校目の学校となります。二子玉川小学校に擔任し、発展性のある魅力ある街と、国分寺崖線沿いの緑と多摩川が象徴する自然の豊かさがまず気に入りました。そして今は、何かができる学校だという思いを強くしています。

着任以来、様々な地域の会合や行事に出席し、多くの方々と出会い、子どもや学校を熱心に応援して活動している姿を目の当たりにしてきました。世田谷区は、「地域で育てる地域の子ども」を標榜して、すべての学校が地域

出火した炎は、三日間に亘って江戸の町大半を焼き尽くし、死者は十万人を超え江戸城内の天守閣、本丸等も焼失してしまいました。折角、五十有余年の歳月をかけた築いて来た江戸の町は、ここに又、復興への道を辿る事になります。そして、五街道とは別に脇往還が物資流通の為、大切な役目を担って行きます。江戸への道、矢倉沢往還は、それまで大山の麓から厚木、町田、登戸の渡りして多摩川を越え喜多見、大蔵、世田谷を経て奇山、赤坂へ向っていましたが、時間優先ルートとして長津田、荏田、溝ノ口、二子の渡しと云う新道が開通します。



## 何かができる

二子玉川小学校で、

そして地域で、子どもたちの将来への夢と希望を育む活動を共にできればと、期待に胸をふくらませ、わくわくしているところです。よろしくお願ひします。



## ふるさと瀬田小学校

瀬田小学校校長 坂本尚子

不思議な縁で、三十年の頃に救済でおりました瀬田小学校に、校長として擔任し、一年が経ちました。故郷へ帰って参りましたという気持ちで過した一年でした。しかも、昨年度は、六十周年という節目の年を、地域・保護者の皆様方のご支援・協力の下、無事終えることができました。心より感謝申し上げます。

富士の嶺のそむ多摩川の緑の丘の瀬田小にわれらはまなぶ  
おおらかに  
雨の日風の日雪の日も  
流れもきよき多摩川の緑の丘の瀬田小に

われらはまなぶ  
手をとりあって  
雨の日風の日雪の日も

希望にもゆる玉川の緑の丘の瀬田小にわれらはまなぶ  
ともどもに  
雨の日風の日雪の日も

校歌に歌われていますように、緑の丘の恵まれた環境で、再会した教え子たちや子どもたちと共に、すこせの幸せを感じております。そして、六十一年目を迎えて、子どもたちにとりまして、教職員にとりまして、心ふるさと瀬田小学校」となりますように、地域と共に歩んでまいりたいと存じます。



## スポーツ

今年夏の行事

金踊り

- 用賀くすのぎ公園 7月23日(水) 24日(木)
- 二子玉川西地区ふれあい広場 7月25日(金) 26日(土)
- 瀬田小学校 7月26日(土) 27日(日)
- 用賀小学校 8月22日(金) 23日(土)
- ふるさと区民まつり 馬塚公苑 8月22日(土) 23日(日)

納涼の夕べ

用賀いらか道 8月19日(火)

午後4時から8時まで

たまがわ花火大会

区立二子玉川緑地運動場 8月23日(土)



人と人が支え合うという事は、両者の数のバランスがとれていてこそその話です。高齢者人口が増える一方で、少子化が進んでいます。将来、支える側の不足を見越して、介護ロボット研究が盛んに行われています。介護の労働力としてロボットは大きな支えでしょうが、それはあくもりのある介護と言えるでしょうか。私達にとって身近な人との交わりの中で、身体的な支えはできなくても、日頃から声を掛け合うなどが、気持ちの支えになっていく事もあろうと思います。そんな事から、本号ではいろいろな人との交わり、支え合いをご紹介しました。(折原)

世田谷区のホームページでもご覧いただけます。

筆耕・カッパ 折原